

もーたーさいくる



浜松市

浜松で誕生した国産オートバイ 浜松市

1946(昭和21)年、浜松市。本田宗一郎は小型エンジンと自転車を組み合わせた乗り物をつくれなかと考え、自転車用補助エンジンを開発。自転車にエンジンを積んだバタバタと呼ばれる二輪車が誕生する。その後、1950(昭和25)年にはドリーム号と名付けられた本格的オートバイを開発する。さらに大ヒットしたスーパーカブの開発や、マン島TTレースへの参戦など、本田宗一郎は二輪車の世界をリードした。他のメーカーも競うようにオートバイ開発に乗り出し、1955(昭和30)年前後には、30社余のオートバイメーカーがあったと言う。浜松が国産オートバイ産業の中心となり、「オートバイのまち 浜松」と言われるようになったゆえんだ。現在の天竜区は本田宗一郎が生まれ育った場所。子ども時代に見た自動車に魅せられ、いつかは自分で車をつくろうと決意し、ものづくりへの夢を育んだ地だ。ここに本田宗一郎の生き方やものづくり精神を伝える「本田宗一郎ものづくり伝承館」がある。



ものづくりの夢を伝える

本田宗一郎ものづくり伝承館

Note

〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣1112 ☎053-477-4664

開館時間 / 10:00~16:30(入館時間)

休館日 / 月・火曜(祝日の場合は水曜が休館) ※夏期休暇(2012年は8月17日~19日)

観覧料 / 無料(特別展開催期間中は有料) <http://www.honda-densyokan.com/>



新東名 浜松浜北ICより約14分 / 東名高速 袋井ICより約40分



館内には、その偉大な業績や考え方をわかりやすく解説したパネルやその半生を記録したビデオなどがあり、本田宗一郎のものづくり精神にふれることができる。NPO法人本田宗一郎夢未来造想倶楽部が運営し、年間を通してものづくりを体験できるイベントを行うほか、秋には特別展を開催する。ショップでは本田宗一郎の似顔絵が描かれたオリジナル手ぬぐい(800円)や、ホンダ歴代の名車、人気車種のポスターや模型などが販売されている。

【Motorcycle】



1958(昭和33)年に登場したホンダスーパーカブ(C100)は、世界中で大ヒットし、現在も全車両のなかで世界最多の生産記録を誇る。乗り手の使いやすさを考えた、ていねいなデザインは合理的でありながらキュートな魅力を感じる